

Bureau Veritas, Marine & Offshore 部門の最高経営責任者

Matthieu de Tugny は、「社会に不可欠な」海運業界に対し、脱炭素化に向けて実用的かつ野心的な取り組みを呼びかけました。

2020年9月24日 パリ、ラ・デファンス

- 世界海事デーにおいて、「海運業は社会にとって極めて重要だが誤ったイメージによって誤解されてはならない」と再度強調しました。
- 「私たちは業界の認知度を高める努力を続け、船級協会は業界の水準を高め続けます。」

Bureau Veritas, Marine & Offshore 部門の最高経営責任者 Matthieu de Tugny（以下、MdT）は、海運業界が脱炭素化の目標を達成し、更なる透明性を持って社会から理解を得て業界水準の向上を保つといった未来を実現するには現実的かつ野心的な取り組みが必要だと述べました。

世界海事デーの演説で、MdT は、現在の新型コロナウイルス流行状況は 2 つの重要な教訓を残したと述べました。

「第一の教訓として、私たちは社会に不可欠な産業として活動を続けており、主要エネルギー、食料、その他の社会に必要な物資を輸送することにより社会に貢献してきました。グローバルな貿易のために海運は貢献してきました。しかし、第二の教訓は、産業としての私たちは、重要な労働者である船員の利益を守ることに限っては道半ばであるということです。

そのため、海運の必要性にもかかわらず、私たちの業界は船員に十分な配慮を行うことができませんでした。これは今変えなければならず、私たちは緊急の優先事項として早急に解決する必要があります。私たちはこの点この不十分な対応の原因を特定し、それを改善するための目標を設定し、社会に対し明確に説明しなければなりません。」

MdT は、海運業の脱炭素化という課題に直面し、私たちの不十分な対応が業界の命運を大きく左右すると述べました。「私たちは今、自らの行動力を見直し、より良い結果を得るために、政府やすべての利害関係者と、業界を越えて働く方法を見つけなければなりません。現在、いくつかの素晴らしいイニシアティブが存在しています。例えば、“Maersk Mc-Kinney for Zero Carbon Shipping Moller Center”、“Global Maritime Forum”、“Getting to Zero Coalition”などが挙げられます。

私たちは皆、より良い結果を出すために協力してくれる Partner と海運業界を超えて手を携える必要があります。

この Partnership に基づく野心的な取り組みが鍵となりますが、燃料としての LNG 推進派と反 LNG 派に分かれている現在の状況は、実用主義的な解決の必要性も示しています。これには海運業の脱炭素化には複数のアプローチが必要であることを理解することが大事です。ゼロ炭素の外航船輸送には、船舶推進のためにアンモニア等の燃料が必要となり、再生可能エネルギーによる水素製造技術の開発を必要とします。しかし、あらゆる革命は実用的な第一歩から始まります。私たちは今、これらの一歩を踏むことができます。」

「現在、世界の造船業は過去 30 年で最低の受注残という状況になっています。しかし近い将来に新規発注が始まることを信じています。そうなれば、天然ガスは最もクリーンで利用可能な選択肢であり、少なくとも今後 10 年は活用が可能となるでしょう。私たちは二酸化炭素ネットゼロの目標を見失ってはならず、代替燃料や推進システムを開発しなければなりません。同様に、私たちは現在利用可能なすべての可能性を利用する必要があります。新たに市場に出ている 2 ストローク LNG エンジンは、これまでフェリーやオフショアで多くのガス燃料船に使用されてきた中速 4 ストロークエンジンとは全く異なり、より改善された排出ガス特性を有しており、現在も改善されつつあります。

MdT は、世界の船舶排出ガス量において約 80% を占める外航船舶の脱炭素化という真の課題に焦点を当てる必要性を強調しました。「新しい 2 ストロークエンジンは外航船のエネルギー転換のきっかけとなります。CMA-CGM の 23,000 TEU 大型船舶のような先取的なプロジェクトは、エンジンの開発が既に現実となっていることを示しており、2030 年および 2040 年の目標を満たすための新たな船舶の設計の基礎になると言えます。」

船級協会について MdT は船級協会は継続的に水準を引き上げる努力をしなければならないと述べました。「私たちの責任は拡大しています。Bureau Veritas は、データの正確性やサイバーレジリエンスなどの問題、および 1828 年の創業以来取り組んできた従来の船舶の物理的な安全性の課題に確実に対処するためにも重要な役割を果たす必要があります。」と述べました。